

初めに重大な注意 - オンライン授業になった場合

講義の内容や資料は、講師や第三者の著作物です。必ず以下のルールを遵守してください。

許可なく講義画面のスクリーンショットを撮影することや、講義の録画・録音すること、これらを第三者がわかるような形でアップロードすることは、不正行為と見なされます。講義のZoom URLを第三者に提供することも不正行為と見なされます。

1

生物環境物理学

目的

「森林を保全する活動・方策を確固たるものにするための基本となる科学」についての講義のつもりです。そこでは、森林の環境の状態を表現するために物理学、そこに生きる生き物を表現するために生物学を必要とします。そして、物理学・生物学の基本が必要なのは間違いありませんが、それだけでは不十分で、これらを繋ぐ科学：生物と物理環境の境界を扱う**生物環境物理学**が必要です。本講義は、皆さんに、この**生物環境物理学**の基本を教え、森林保全活動の入り口まで案内することを目標としています。

2

講師：熊谷朝臣（くまがい ともおみ）

http://tomo-kumagai.eco.coocan.jp/index_j.html

を訪れば、大体どんな人か分かります。

講義を受ける前に

必ず、

http://tomo-kumagai.eco.coocan.jp/class_j/class_j.html

を訪れて、講義資料（PDF）をダウンロードして下さい。

ここには、講義情報の全てがあります。

例えば、

急な休講、臨時の補講、テストやレポート情報など、全て、ここでお知らせします。

講義前に必ず、ここで確認して下さい。

3

自己紹介

東京大学農学部林学科卒業

- ・砂漠緑化がやりたかった。
- ・水が大事だと思った。→森林水文学へ。

九州大学演習林に就職

（助手・助教授・准教授）

- ・生物気象学・水文気象学に興味を持つ。
- ・“山の仕事”の基本を身に着けた。
- ・まだ、この段階では専門は“森林科学（農学）”

4

名古屋大学地球水循環研究センター →宇宙地球環境研究所（准教授）

- ・地球スケールの研究がやりたくなった。
- ・地球物理学がやりたくなった。
- ・自分の仕事は生物地球科学であると確信した。

（気がいたら）

東京大学大学院農学生命科学研究科 森林科学専攻（教授）

- ・生物地球科学の主役は森林だと確信した。
- ・森林科学は地球科学の王様だと確信した。
- ・つまり、気がいたら森林科学に戻った。

5

2002～2003、2010～2011の 2度のアメリカ滞在

Duke University（我が母校！；客員教授）

- ・師匠と出会えた！
- ・研究の基礎力全てはここから！
- ・世界中の人間関係の原点！



Duke
UNIVERSITY



6

講義を受けるに当たって

http://tomo-kumagai.eco.coocan.jp/class_j/class_j.html

を訪れて、**ミニマム・リクワイアメント**を見ておいて下さい。

数学リメディアル教材

http://tomo-kumagai.eco.coocan.jp/2016_remedial_math_kenlo.pdf

は本講義の単位取得の必須条件になります。

ミニマム・リクワイアメント

(=数学・物理学・化学・生物学・地球科学等の基礎科目)を重視する理由について

今回の講義でお話します。

7

単位取得について

- ・この科目は**選択必修科目**です。
- ・出席は取りません。
- ・頻繁に**小テスト**と**レポート課題**を出します。その総合点を持って成績が付きます。**成績は基本的に素点でつきます。**
- ・講義中に頻繁に皆さんに質問します。そのときの皆さんの反応も成績に加味されます。と言うか、**かなり重視します。**

8